

学年	2	科目 分類	英語W English Writing	必修 講義	H25通年 2単位	学習教育目 標 4	担当	M, E 藤井数馬 D, S, C 成田智子 M, E FUJII, Kazuma D, S, C NARITA, Tomoko
学科(1年は 1行ス)	全学科							
概 要	高専1年までに学んだ学習事項を基盤にして、問題演習を通じた英文法の定着、そしてその文法知識を用いて、自分や身近なことを英作文を通して自己表現できる力を養うことを目的とした科目である。英語をアウトプットするためには豊富なインプットが必ず必要になってくることから、問題演習にとどまらず、音読、筆写、多読、多聴、暗唱等の活動を適宜導入していく。また、自己表現の場として、協同学習的(グループ活動、ペア活動)を適宜取り入れていく。							
科目目標 (到達目標)	TOEIC Bridgeで140点以上の英語力を身につけることを目標とする。また、英語学習の必要性を感じ、自ら学習していく姿勢とともに、高専生としてのあるべき学習姿勢も身につける。							
教科書 器材等	『ブレイクスルー総合英語』(美誠社)、『ブレイクスルー英文法27章』(美誠社)、『ブレイクスルー英文法27章ワークブック』(美誠社)、『ブレイクスルーキーストーン英文法』(美誠社)							
評価の基準と 方法	定期試験及び臨時テスト、小テスト80%、平常点(授業態度、学習意欲、出席状況、忘れ物等)20% 6割以上の修得で合格とする。							
関連科目	総合英語A、総合英語B、英語C							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		ガイダンス、春休みの課題の確認、小テスト、Lesson 23 比較(1)						
第2回		Lesson 24 比較(2)						
第3回		Optional 9 比較						
第4回		Lesson 25 仮定法(1)						
第5回		Lesson 26 仮定法(2)						
第6回		復習						
第7回	×	前期中間試験						
第8回		テスト返却、テスト解説、Optional 10 仮定法						
第9回		Lesson 27 話法						
第10回		Additional 1 否定						
第11回		Additional 2 名詞と冠詞						
第12回		Additional 6 前置詞						
第13回		Additional 10 様々な構文						
第14回		復習、夏休みの宿題について等						
第15回	×	前期期末試験						
第16回		テスト返却、テスト解説、Chapter 5 不定詞						
第17回		Chapter 5 不定詞						
第18回		Chapter 5 不定詞						
第19回		Chapter 6 動名詞						
第20回		Chapter 6 動名詞						
第21回		Chapter 7 分詞						
第22回		Chapter 7 分詞、復習						
第23回	×	後期中間試験						
第24回		テスト返却、テスト解説、Chapter 8 関係詞						
第25回		Chapter 8 関係詞						
第26回		Chapter 10 仮定法						
第27回		Chapter 10 仮定法						
第28回		Chapter 3 助動詞						
第29回		復習						
第30回	×	学年末試験						
第31回		テスト返却、テスト解説、授業アンケート等						
オフィスアワー	授業日の昼休みまたは放課後を基本とするが、担当者によって異なる場合がある。指示を仰ぐこと。							
授業アンケート への対応	使用教材は同じであるが、授業担当者が2名いるため、状況(クラスの英語習得水準、学習意欲・態度、授業担当者の授業方針等)によって進度やテスト範囲も適宜変更する場合がある。変更があった場合は、授業担当者から説明をする。							
備 考	本授業の目的は、英語で表現するための文法力の養成である。文法の問題演習だけで事足りるような授業は行わず、自己表現の場(個人、グループワーク)を設ける。英語でのコミュニケーション能力養成のためには、表現しようとする積極的な姿勢や他者との関わりが基盤になることから、積極的な授業姿勢を求める(これが平常点の成績資料の一部となる)。暗唱などの小テストは随時実施し、週1回の授業のため、復習として宿題を課すことを基本とする。 なお、前期は『ブレイクスルー英文法27章』を用い、後期は『ブレイクスルーキーストーン英文法』を用いる。後期は、英語で表現する際に特に重要となってくる不定詞、動名詞、分詞、関係詞、仮定法などを復習し、英語コミュニケーション能力の養成を目的とする。また、『ブレイクスルー27章ワークブック』は自習用、宿題用として用いる予定である。 なるべく分かりやすい授業を心がけるが、分からない箇所があれば、積極的に質問をすること。また、授業以外で自ら英語にふれる習慣を作ること。							
更新履歴	20130311新規							